

【樹木の部屋】

サルビア・ミクロフィラ (シソ科アキギリ属 *Salvia microphylla*)

和名：アキノベニバナサルビア **別名**：チェリーセージ

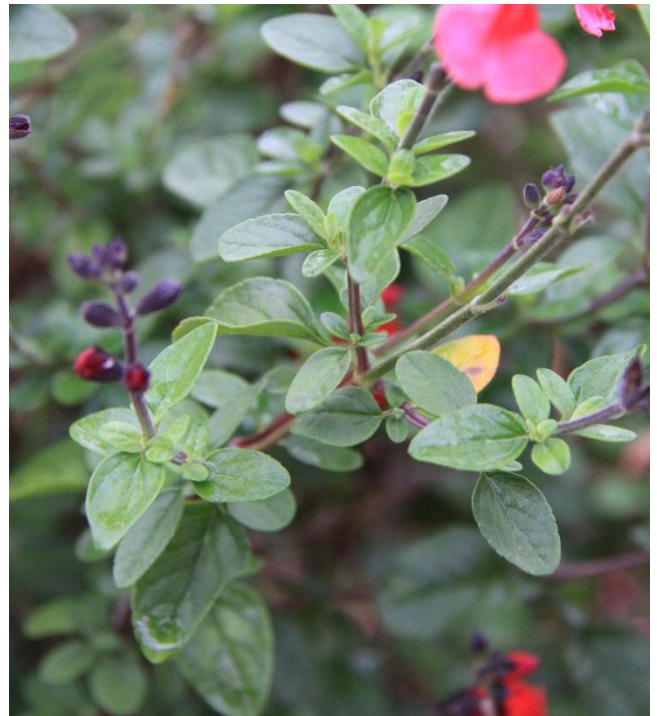
英名：Baby sage、Cherry sage、Blackcurrent sage

シソ目 常緑低木 **原産地**：アメリカ南部、メキシコ

花言葉：燃ゆる思い、尊重、知恵 **花の色**：赤、桃、紫、赤白



← 写真-1 サルビア・ミクロフィラ
撮影日：2016年05月28日
撮影場所：カルカソンヌ
(フランス)にて
撮影者：M さん



←↑ 写真-2, 3 サルビア・ミクロフィラ
撮影日：2016年05月28日
撮影場所：カルカソンヌ
(フランス)にて
撮影者：M さん

→ 写真-4 サルビア・ミクロフィラ
～ホットリップス
撮影日：2016年06月03日
撮影場所：モネの家
(ジュベルニー～フランス)にて
撮影者：M さん



写真1～3は、アルルからカルカソンヌへ移動中、休息のために立ち寄ったドライブインの片隅に咲いていました。写真4は、ジュベルニーにあるモネの家の庭で見かけました。

通称、チェリーセージ。英名がそのまま流通名になったもので、正式な種名ではないそうです。

国内でも、多くの家庭に植えられている植物です。ホットリップスは、初めて目にしました。「可愛～い」と、思わず、足を止めました。ホットリップスは、サルビア・ミクロフィラの改良品種で、暑い時期は花が赤色になり、気温が低くなるほど白の面積が増えて、赤と白のツートンカラーになるのが特徴です。

チェリーセージとして栽培されるのは主に、「サルビア・グレッギー(Salvia greggii)」 「サルビア・ミクロフィラ(Salvia microphylla)」と、二種の自然交配種サ「サルビア・ヤメンシス(Salvia x jamensis)」などのいくつかの種類の総称として呼ばれているそうです。

園芸では単に「サルビア」と言うと、サルビア・スプレnden(s(ブラジル原産の草本)とそれらの園芸品種のことを指すそうです。標準和名としてはヒゴロモソウ(緋衣草)。夏・秋花壇、プランター植えでよく見られる緋色のサルビアはたいがいこの種だそうです。